

令和7年度 学校経営について

I. 学校教育目標 「鳥海の高きに向かい、持続可能な未来を拓く生徒の育成」

II. 目指す生徒の姿 「現遊佐中生に求め、育んでいくこと」（小中一貫教育で目指す15歳の姿）

1. 心豊かな生徒

「多様性を共感的に理解すること」 「よりよい価値を求めるここと」

2. 創造力に富む生徒

「基礎基本となる知識・技能の定着と活用を図ること」 「複眼思考で想像すること」

3. たくましい生徒

「自ら決定し、結果に責任を持つこと」 「へこたれないしなやかさを身に付けること」

III. 小中一貫教育

1. 合言葉 「多様性～みんなちがって みんないい～」

2. キーワード 対話 学び合い 合意形成 自己決定 学びの共同体

IV. 目指す学校の姿 「複眼思考でつくり出そう

誰一人取り残さない、持続可能な遊佐中」

1. よりよい生き方を育む 多様性の理解と価値の追求はよりよい生き方につながる。

- 主体性、学びに向かう力・人間性等の涵養
- 人間関係力を身に付ける活動 対話による合意形成を図る機会の設定
- 体験活動の充実 自己有用感を高める活動

2. 確かな学力を育む 基礎基本となる知識・技能の習得と複眼思考（思考力・判断力・表現力等）を育成し確かな学力を身に付ける。

- 教科の見方、考え方を働かせる授業 協働的な学習で複眼思考を身に付ける
- 総合を核とした教科横断的な視点での探究的な学習

3. しなやかさを家庭や地域とともに育む 自己決定・責任、しなやかさは家庭・地域とともに育っていく。

- 各まち協・センと連携し地域行事への積極的な参加を促し、地域での役割と責任を果たす
- 「遊佐っ子10か条」をもとに、自立と自律とともに育むPTA活動

V. 目指す教師の姿

1. 生徒と自分自身の幸せを追求する教師 （率先垂範）

- ・教師の幸せが生徒の幸せにつながる。生徒の幸せが教師の励みになる。

2. 自らを高め、授業力向上に努める教師

- ・他教科の実践に学び、教科横断的な視点で生徒の学びを捉える。

3. 多様性を理解し、生徒の自尊感情、自己有用感を高める教師

- ・特別支援教育をベースにした生徒理解に努め、成長を支える発達支持的生徒指導を行う。

VI. 各指導部の目標と重点

1. 【教務・総合指導】探究的な見方・考え方を働きかせ、教科横断的な総合的な学習を行うことを通して、よりよく問題を解決し、自己の生き方を考えいくための資質・能力を育む

- (1) 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関する概念を形成し、探究的な学習のよさを理解する。
- (2) 実社会や実生活の中から問題を見いだし、課題を自分で立て、情報を集め、整理・分析してまとめ・表現する力を育てる。
- (3) 主体的・協働的に取り組むとともに、互いの良さを生かしながら、積極的に社会に参画しようという態度を養う。

2. 【学習指導】単元(評価)計画をもとに、生徒(教師)が見通しを持って主体的に学ぶ(評価する) 授業づくり

- (1) 基礎基本となる知識・技能を習得し、更に粘り強く探究しようとする生徒の育成。
- (2) 生徒が学習における自分の得意・不得意を知り、弱点を克服し強みを伸ばすことができる指導。

3. 【生徒指導】対話を通じて多様性を尊重し、自己指導能力を高める生徒の育成

- (1) 他者との関わりを通じた自己決定の推進。(複眼思考)
- (2) 共感的に理解しあい他者に寄り添う姿勢の涵養。(誰一人取り残さない)
- (3) より良い生活と互いの幸福を追求する活動への支援。(持続可能)

4. 【健康指導】命を守る意識を高め、心身ともに健康な生活ができる生徒を育てる

- (1) 危機管理を意識した安全な生活を送る生徒の育成。
- (2) 自己管理による健康な体作りに努める生徒の育成。
- (3) 健康でしなやかな心を持つ生徒の育成。

5. 【学校研究】「自らの学びを求める生徒の育成

～自らの本能にスイッチを入れる授業づくり～

VII. 特別支援教育力の向上と教育的ニーズに応じた取り組みの推進

1. 特別な支援を必要とする生徒に関して、小学校との更なる連携を図り、一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導・支援を継続していく。
2. 特別支援コーディネーターを中心¹に特別支援教育推進委員会、特別支援学級に関わる教科部会等を機能させ、特性、学習の進度状況等を把握し、一人一人の成長に合った指導・支援を行っていく。
3. 特性の理解・特別支援教育に関する基礎的な知識や対応方法等を全職員が身に付け、全校で支援体制を進める。
4. 通常学級に在籍する特別な支援を必要とする生徒を把握し、必要に応じて「個別の指導計画」の作成し学力の保障に努める。

VIII. 地域と一体となっての学校づくり（コミュニティスクール・地域学校協働活動など）

1. 積極的な情報提供による開かれた学校づくりに努め、コミュニティスクールと地域学校協働活動と一体的な推進。
2. 生徒・教師・保護者・地域住民の多様な組織間の連携・対話を重視と地域行事への積極的な参加の奨励。(熟議に生徒・保護者の参加 地域連絡員の活動)
3. 9年間を見通した小中一貫教育を学びの充実部、特別活動の充実部を中心に取り組んでいく。